

平成29年度鹿児島市商工業振興プラン推進会議 会議概要

日 時： 平成29年10月16日（月） 10：00－11：35

場 所： 鹿児島市役所みなと大通り別館5階502会議室

参 加 者： 委員11名（山下委員(市産業局長)を含む）

会 次 第： 1 開 会

2 協 議

(1)鹿児島市商工業振興プランの進捗状況について

3 意見交換

4 閉 会

主な意見等： 以下のとおり

(委員) 資料3において、28年決算より29年予算が下回っているのに拡充となっている事業があるが、こういった考え方によるものか。

(事務局) 例えば「10. フードビジネス推進事業」ではこれまで実施してきたビジネス交流会を縮小し、29年度から新たにマッチングセミナーを加えた。予算は交流会の縮小により減少したが、新しい取組であるマッチングの手法を勉強する仕組みを導入したため拡充とした。

(委員) 市等の取組を見たところ目指す方向に進んでいると考える。一方、先日東京で開催されたバイオジャパンなどに参加した際、一部の参加市においては、自治体単位で情報を発信し、また、他地域の取組状況や情報を積極的に収集していく姿勢を感じた。鹿児島市の展示会等への関わり方は。

(事務局) (市が直接、産業関連の展示会等に参加してはいるが、)国内外において企業が展示会へ出展することに対し補助しており、取引件数など順調に伸びている。

(委員) 新規創業者育成支援事業における新規創業者はどのような方か。他の地域から来ている人も多いか。

(事務局) 28年に本市で創業した人は45人で、男29人・女16人、29歳以下3人・30～54歳41人・55歳以上1人。

業種は飲食、Web制作、美容等である。他市から来て創業する方は少ない。

(委員) 海外へのアピールも大切。現在、市はネクストアジア委員会を立ち上げ、ビジョンを作ろうとしている。特に人材育成と外国人活用が大事だと思う。

(委員) 街なかりノベーション推進事業や頑張る商店街支援事業などで支援したい業種・分野、市として商店街をこう持っていきたい等のグランドデザインや特に推す業種とかはあるのか。

(事務局) これまでは商店街が希望している業種に補助していた。

今年度から街なかりノベーション推進事業を実施することとしており、先日開催した講演会には不動産業や公務員など幅広い業種の方が参加した。市は、各商店街の要望に応える支援を行ってきており、まちづくりの観点からもリノベーションの成功事例が他店に影響を与えるような広がりを見せる取組にしていきたい。

(委員) 市全体ではにぎわいつつあるかもしれないが、天文館地区はにぎわっていない。

地代が高いなどが要因の一つだが、そんな中でリノベーションの観点は大切だ。

また、プランの資料において、成果指標等を定めているものの、その結果しか載っていない。なぜこの結果になったのか、要因・原因の分析を資料に掲載した方が良い。

評価も「○」等の数だけでは分かりにくいので、目標年が近づくにつれ何らかの整理・工夫が必要。

(委員) 県内の商工業界の課題として、少子高齢化や人材不足が挙げられる。受注はあるが対応できる人がいないといったことも起きている。また、黒字なのに企業経営を承継できないことから廃業する経営者や事業所等が多い。今、手を付けないと中小企業が減っていくため、積極的に支援等の事業を行っていくことが必要。(今後、県対応予定)

(委員) 東京で行われる展示会等において鹿児島を紹介をすると、鹿児島出身者の方で実は帰りたいと答える人が多いと感じる。

関係ホームページなど分かる範囲のことは紹介しているが、U I J ターンしやすいよう、雇用関連や移住等の取組をもっと特化して情報発信した方が良い。

以上